

オオバの適品種と電照による抽苔抑制

農業研究センター 農産園芸研究所 野菜部

研究のねらい

オオバは小物野菜のなかで、近年、市場の要望も高く、需要の高い品目である。オオバを導入するにあたっては、消費者ニーズに適した品種の選定が重要であり、また、周年供給が求められることから、電照で抽苔を抑制する必要がある。

そこで、4月播種、5月定植で適品種を探るとともに、8月から電照法による抽苔抑制効果を検討した。

研究の成果

1. 適品種の選定

オオバに向く品種としては、葉は鮮緑色で円に近く、葉の切れ込みのそろったもの。香りが強く、芳香であること。草勢が強く分枝数が多く収量が多いもの等が求められる。

- (1) 収穫葉数は、6月から10月までの合計で、“青縮緬しそ”が最もおおく、ついで“大高”が多かった。6月～8月の初期の収穫葉数でもほぼ同様の結果であった。
- (2) 品質面では、“青しそ(小林)”と“青縮緬しそ”の葉色が濃く、葉の表面に細かい縮みのあるいわゆる縮緬系で、その他の3品種が縮みのほとんどない平葉であった。縦横比では、品種による差よりも個体差の方が大きいように見受けられたが、平葉系の方が縮緬系よりもやや縦長であった。
- (3) 市場では、葉色が濃く、刺身の下に敷くような平葉が好まれることから、収量が高く、形質のよい“大高”が有望であった。

2. 電照による抽苔抑制法について

- (1) 無電照では、9月中旬に穂が出始め、9月下旬には全ての品種で穂がでそろった。それに対し、電照を行った場合、いずれの方法でも10月末まで出穂しなかった。
- (2) このことから、夜間30分の電照でも十分花芽抑制効果があることになり、慣行の16時間日長に対し、大幅な節電となる。

第1表 収穫調査(aあたり)

品種名	6月		7月		8月		9月		10月		合計	
	葉数	重さ	葉数	重さ	葉数	重さ	葉数	重さ	葉数	重さ	葉数	重さ
	千枚	kg	千枚	kg	千枚	kg	千枚	kg	千枚	kg	千枚	kg
かおり青大葉	60	39	151	74	133	50	100	37	121	48	565	248
青シソ(タヱ)	64	39	160	69	132	44	93	31	131	48	580	231
大高	69	39	170	74	126	45	100	34	149	56	614	248
青シソ(小林)	58	26	163	74	139	51	95	36	126	52	581	249
青縮緬しそ	58	39	173	77	138	52	105	41	148	64	622	273

注) 10月の収穫は、穂発芽していない区の平均

第2表 生育調査

品 種 名	6月10日		7月23日		側枝本数
	草丈	主枝節数	草丈	主枝節数	
	cm	節	cm	節	本
かおり青大葉	49.0	8.4	68.8	15.0	18.2
青シソ(タヱ)	53.7	8.7	79.7	16.5	20.5
大高	50.7	9.0	81.8	17.2	21.2
青シソ(小林)	50.7	8.3	68.8	15.6	17.7
青縮緬しそ	52.8	8.5	69.5	15.8	19.3

第3表 品質調査

品 種 名	葉長	葉幅	/	葉色	その他
	cm	cm		SPAD	
かおり青大葉	9.0	7.5	1.21	25.2	平葉
青シソ(タヱ)	8.7	7.1	1.23	26.2	平葉
大高	8.8	7.2	1.22	25.9	平葉
青シソ(小林)	8.9	7.7	1.16	24.3	縮緬
青縮緬しそ	9.3	7.9	1.18	24.2	縮緬

第4表 電照効果

区	9月27日調査 抽台株率(%)	10月30日調査 抽台株率(%)
16時間日長(慣行)	0	0
暗期中断30分(0:00~0:30)	0	0
" 1時間(0:00~1:00)	0	0
" 2時間(23:30~1:30)	0	0
" 3時間(23:00~2:00)	0	0
無電照	100	100